

第1回 平成24年9月29日 (土)

<第1部> 午後1時開演 (正午開場)

解説: 小田幸子

能 「山姥」 (観世流) 梅若玄祥

<第2部> 午後4時半開演 (午後4時開場)

能 「皇帝」 (観世流) 梅若玄祥

第2回 平成24年11月3日 (土・祝)

<第1部> 午後1時開演 (正午開場)

解説: 西野春雄

能 「砧」 (観世流) 浅見真州

<第2部> 午後4時半開演 (午後4時開場)

能 「玉井 貝尽」 (観世流) 浅见真州

第3回 平成25年1月12日 (土)

<第1部> 午後1時開演 (正午開場)

解説: 天野文雄

能 「清経 恋之音取」 (観世流) 大槻文藏

<第2部> 午後4時半開演 (午後4時開場)

復曲 能 「巴園」 (観世流) 大槻文藏

チケット料金:

通し券 (第1部・第2部) /

S席: 9,000円 A席: 8,000円 B席: 7,000円

チケット発売: 7月15日 (日) 正午より (初日は電話のみ)

※通し券は電話または窓口でのみ販売します。

単独券/S席: 5,000円 A席: 4,500円 B席: 4,000円

チケット発売: 8月11日 (土) 正午より (初日は電話・WEBのみ)

※通し券が売り切れた場合、単独券の販売はありません。

※電話予約開始日にチケットが売り切れた場合、窓口での販売はありません

お申込み・お問合せ: 横浜能楽堂 045-263-3055

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2

<http://www.ynt.yaf.or.jp>

横浜能楽堂

横浜能楽堂企画公演

美
の
世
阿
弥
華
の
信
光

義満を中心とした北山文化が花開いた室町初期にあった、和歌や古典文学を素材として「美しさ」を追求した「山姥」「砧」「清経」などを作り上げ、貴人たちに愛された世阿弥。室町幕府が機能不全に陥り、庶民が台頭して来た戦国の世で、神話や中国の伝説をもとに「華やかさ」を前面に出した「皇帝」「玉井」「巴園」などを作り、多くの人々を引き付けた観世信光。能という芸能に厚みをもたらした、この2人の究極の名作に人気・実力ともに当代を代表する観世流の三人が挑む。

世阿弥（左）と観世信光（右）の浮世草子。

世阿弥（1363年? - 1443年?）当時人気役者だった観阿弥の子として生まれる。幼いころから舞台に出演し、美童として将軍や貴族の寵愛を受ける。教養を身に付けた世阿弥は、先人たちの芸に学びながらも、当時の観客の中心であった武家、貴族の好みに併せ、それまでの物まね主体の能から、歌舞主体の幽玄の能へと芸術性を昇華させる。また能作者として多くの作品の改作や新作に取り組み、和歌や古典文学を題材に、優美で抒情性にあふれた作品を多く生み出す。その作風は後世まで強い影響を及ぼした。

観世信光（1450年 - 1516年）世阿弥の甥、音阿弥の第七子として生まれる。叔父の弥三郎に師事し、大鼓方の名人として早くからその才能を表す。また、能作者として多くの作品を残しており、中国の伝説に材を取った能や、多数の登場人物、華やかな作り物を使用する能など、その作風は、ショー的要素を前面に押し出したものが多い。これは、応仁の乱を経て、乱世となった世の中では、武家、貴族の後援を受けられず、幽玄よりも風流性を求めた民衆の求めに応じたものと考えられている。



梅若玄祥（シテ方観世流）

梅若玄祥（シテ方観世流）

梅若玄祥（シテ方観世流）1948年生まれ。五十六世梅若家当主。父・五十五世梅若六郎及び祖父・梅若実に師事。復曲、新作能も多数手がけるなど演出家としても活躍する。87年芸術選奨文部大臣新人賞、99年日本芸術院賞ほか受賞多数。06年紫綬褒章受章。日本芸術院会員。重要無形文化財総合指定保持者。

浅見真州（シテ方観世流）

浅見真州（シテ方観世流）1941年生まれ。父・浅見真健及び観世寿夫に師事。新作能、復曲能の作曲、演出、上演にも積極的に取り組む。異流共演も多数。99年度観世寿夫記念法政大学能楽賞、04年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。05年紫綬褒章受章。重要無形文化財総合指定保持者。

大槻文藏（シテ方観世流）

横濱能楽堂企画公演 美の世阿弥 華の信光

観世流 観世信光（シテ方）と梅若玄祥（ツレ）

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

第1回
平成24年9月29日（土）

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

第1部 午後1時開演

解説 小田幸子（明治学院大学講師）

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

能「山姥」 （観世流）			
シテ（女・山姥）	梅若 玄祥		
ツレ（百万山姥）	角当 直隆		
ワキ（従者）	殿田 謙吉		
ワキツレ（供人）	大日方 寛		
ワキツレ（供人）	梅村 昌功		
アイ（里人）	野村 万作		
笛	松田 弘之		
小鼓	成田 達志		
大鼓	亀井 忠雄		
太鼓	金春 國和		
後見	観世 喜正 小田切康陽		
地謡	山崎 正道 馬野 正基 鈴木 啓吾 古川 充 山中 遼晶 松山 隆之 谷本 健吾 坂 真太郎		

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

第2部 午後4時半開演

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

能「皇帝」 （観世流）			
シテ（尉・鍾馗の霊）	梅若 玄祥		
ツレ（楊貴妃）	坂 真太郎		
ツレ（病魔）	川口 晃平		
ワキ（玄宗皇帝）	宝生 閑		
ワキツレ（大臣）	大日方 寛		
ワキツレ（大臣）	御厨 誠吾		
アイ（官人）	石田 幸雄		
笛	松田 弘之		
小鼓	成田 達志		
大鼓	柿原 弘和		
太鼓	金春 國和		
後見	山崎 正道 古川 充 観世 喜正 小田切康陽		
地謡	馬野 正基 鈴木 啓吾 角当 直隆 山中 遼晶 松山 隆之 谷本 健吾		

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

第2回
平成24年11月3日（土・祝）

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

第3回
平成25年1月12日（土）

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

第1部 午後1時開演

解説 西野春雄（法政大学名誉教授）

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

能「砧」 （観世流）			
シテ（謡吟・勅遣）	浅見 真州		
ツレ（夕霧）	北浪 貴裕		
ワキ（蘆屋某）	森 常好		
ワキツレ（従者）	森 常太郎		
アイ（下人）	山本泰太郎		
笛	一噌 隆之		
小鼓	飯田 清一		
大鼓	亀井 広忠		
太鼓	小寺 佐七		
後見	小早川 修 浅見 慈一		
地謡	観世鋏之丞 浅井 文義 柴田 稔 馬野 正基 長山 桂三 谷本 健吾 安藤 貴康 青木 健一		

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

第2部 午後4時半開演

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

能「玉井 貝具」 （観世流）			
シテ（海神の宮主）	浅見 真州		
ツレ（豊玉姫）	片山九郎右衛門		
ツレ（玉依姫）	味方 玄		
ワキ（彦火々出見尊）	森 常好		
ワキツレ（従者）	森 常太郎		
ワキツレ（従者）	則久 英志		
アイ（文蛤の精）	山本東次郎		
アイ（鮑の精）	山本 則俊		
アイ（蛤の精）	山本凜太郎		
アイ（赤貝の精）	山本 則孝		
アイ（法螺貝の精）	山本 則重		
アイ（栄螺の精）	山本 則秀		
笛	一噌 隆之		
小鼓	飯田 清一		
大鼓	亀井 広忠		
太鼓	小寺真佐人		
後見	観世鋏之丞 谷本 健吾 浅井 文義 清水 寛二 西村 高夫 岡田 麗史 安藤 貴康 青木 健一 小早川泰輝 観世 淳夫		
地謡			

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

第3回
平成25年1月12日（土）

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

第1部 午後1時開演

解説 天野文雄（大阪大学名誉教授）

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

第1部 午後1時開演

解説 天野文雄（大阪大学名誉教授）

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

能「清経 恋之音取」 （観世流）			
シテ（平清経）	大槻 文藏		
ツレ（清経の妻）	寺澤 幸祐		
ワキ（粟津三郎）	福王茂十郎		
笛	一噌 仙幸		
小鼓	大倉源次郎		
大鼓	山本 孝		
後見	上田 拓司 浦田 保親 武富 康之		
地謡	多久島利之 赤松 禎英 山本 博通 上野 雄三 山本 正人 齊藤 信輔 水田 雄晤 赤松 裕一		

観世流 観世信光（シテ方）と大槻文藏（ツレ）

第2部 午後4時半開演

 復曲 能「巴園」（観世流）

シテ（園守の翁）	大槻 文藏		
ツレ（園守の姥）	山本 博通		
ツレ（龍神）	上野 雄三		
子方（仙人）	武富晶太郎		
子方（仙人）	寺澤 杏海		
ワキ（勅使）	福王茂十郎		
アイ（仙人）	善竹 隆平		
笛	藤田六郎兵衛		
小鼓	大倉源次郎		
大鼓	山本 哲也		
太鼓	観世 元伯		
後見	赤松 禎英 寺澤 幸祐 武富 康之		
地謡	多久島利之 上田 拓司 浦田 保親 山本 正人 生一 知哉 齊藤 信輔 水田 雄晤 山田 薫		

横浜能楽堂特別展

美の世阿弥 華の信光

期間：平成24年9月29日（土）～平成25年1月12日（土）

午前9時～午後8時

会場：横浜能楽堂 二階展示廊 入場料：無料

能装束研究の第一人者であり、国内外で高い評価を受ける山口憲氏が製作した装束の中から、梅若玄祥、浅見真州、大槻文蔵の3人が、公演に使用するために選んだ装束を展示します。
どの装束がどの曲で使用されるか想像を膨らませながら、能装束の美をご堪能下さい。

能装束研究家・山口朋子氏による解説

企画公演「美の世阿弥 華の信光」各回、第2部終演後に行います。



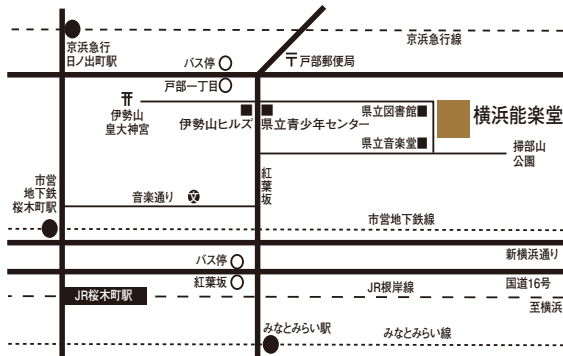
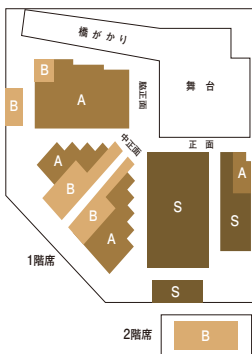
唐織 秋草文様 段替り



厚板 毘沙門亀甲聖獣文様 白地

※平成24年10月1日（月）・15日（月）、11月12日（月）・19日（月）、12月3日（月）・10日（月）・29日（土）30日（日）31日（月）、平成25年1月1日（火）・2日（水）・3日（木）・7日（月）は休館のためご入場頂けません。

※有料の催しがあるときは、チケットをお持ちでない方はご入場できません。 ※開館時間は変更になる場合がございます。詳しくはお問合せ下さい。



交通のご案内

◇電車利用/JR根岸線・市営地下鉄線「桜木町」駅下車徒歩15分/みなとみらい線「みなとみらい」駅下車徒歩20分/京浜東北線「日ノ出町」駅下車徒歩18分（タクシー利用は各駅とも約5分）

◇バス利用/戸部1丁目（市営バス 103 系統）下車徒歩5分/紅葉坂（市営バス 8、26、58、89、101、105、106 系統/神奈中バス横 43、横 44、港 61 系統/江ノ電バス大船駅行、栗木行/京急バス110系統）下車徒歩10分
※ 駐車場はございませんので、ご来場の際には電車・バスをご利用下さい。

※ 内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承下さい。

※ 客席への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2

<http://www.yntyaf.or.jp>

tel:045-263-3055